７年　　総合的な学習の時間年間計画　　学習テーマ「梼原人から学ぶもてなしの心」（全５０時間）

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月
総合学習 活動関連 ○活動 ●交流 ✐各教科 ❤道徳 ★行事・特別活動 ☆スキル	**もてなしの心を学ぶ（１９時間）** 茶堂文化 ○茶堂文化を学ぶ　●町長または副町長 ○茶堂を調べよう ✐国語　手紙の書き方 ❤C-(16)郷土愛 ☆あいさつの定着 ☆学習発表の仕方 ☆インタビューの仕方 ☆指導者への礼儀作法 ☆お礼の手紙 風早茶の会 ○おもてなし体験　●風早茶の会（西村さん） ❤B-(7)礼儀、適切な言動 ☆あいさつの定着 ☆指導者への礼儀作法				**立志式（７時間）** **～一年間を通した取組（目標設定→立志宣言へ）～** ○ひと言立志 ✐国語　意見を書こう ❤A-(3･4)向上心・克己心、B-(6)感謝 ☆あいさつの定着 ☆学習発表の仕方		**福祉体験学習（１０時間）** 高齢者疑似体験 ○事前学習 ●体験 ○まとめ		**職業体験学習（１４時間）** 梼原の産業 ○梼原の産業を調べよう ○決意書を作成しよう ✐社会　地域の産業 ☆学習発表の仕方 職業体験事前学習 ○職場にアポイントメントをとろう　●産業関係者 ○職場を訪問しよう 体験希望する職場を訪問し，担当者と面談する ❤C-(13)勤労奉仕 ☆あいさつの定着 ☆電話のかけ方			
評価規準	もてなしの心を学ぶ ①梼原の「もてなしの心」を育む茶堂文化について意欲的に学ぼうとしている。【関意態】 ②茶堂文化やおもてなし（接待）の心を学び、実際に茶堂を巡る体験を通して、郷土文化を大切にしていくことの方法や課題について考えている。【思判表】 ③梼原町・梼原の歴史について知るとともに、茶道文化の意義や内容を理解している。【知理】		福祉体験学習 ① 町の福祉活動や介護活動について興味を持ち、その実体を知ろうとしている。【関意態】 ② いろいろな立場の方々の思いを理解し、バリアフリーの充実に向けての意欲を高めている。【関意態】 ③ 共生の心や他人を思いやることの大切さと、そのために自分たち自身が何ができるかについて考えている。【思判表】 ④ 高齢者の特性を踏まえて，高齢者にどう接したら良いかのスキルを身に付けている。【技】 ⑤ 福祉活動や高齢者の特性，高齢者への関わり方について理解している。【知理】			立志式 ① 仲間や保護者、地域の方々、教職員など、自分を取り囲む多くの人々の支えによって、今の生活が成り立っていることへの感謝の心を示そうとしている。【関意態】 ② これまでの生活を振り返りながら、今後の生き方や将来の目標について考えている。【思判表】 ③ 立志宣言として、自分自身の思いをしっかりと文章表現し、発表できている。【技】			職業体験事前学習 ①梼原の産業と関連させて，キャリア学習のひとつである職業体験学習を意欲的に学ぼうとしている。【関意態】 ②職業体験事前学習として，自分の生活や特性を振り返り，履歴書を作成している。【思判表】 ③実際に職場を訪問し，メモを取り，それをレポートにすることができる。【技】			